

科目名	中国の文化	
担当者	谷口 明夫 / TANIGUCHI, Akio	
科目情報	教養科目1群 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	中国文化は日本文化に大きな影響を与えてきた。伝統的な慣習や祭りには、特に中国文化の影響が残っている。本講義では、陰陽五行思想と易経の概略を学び、中国と日本の暦や年中行事・風俗の実態とその裏に潜む歴史的由来を理解する。
	到達目標	(1) 十干と十二支を書き六十干支の読み方の由来を説明できる (2) 陰陽思想と五行思想の概略を説明できるようになる。 (3) 伝統的易占いを理解し、実際に占筮してみる。 (4) 正月の行事、端午の節句、風水などの由来と実態を知る。
授業計画	(1) オリエンテーション：授業の進め方についての説明。教材配布 (2) 殷代の暦 十干と十二支 さつま暦の構成 (3) 陰陽五行思想と陰陽家 (4) 易経の思想 太極と陰陽二元，八卦・六十四卦 (5) 八卦・十干・十二支とその象徴・時刻・方角など (6) 易経の構成 経(本文)と伝(注釈) 卦の構造 記憶してほしい術語 (7) 易占いの仕方 本筮法についての解説 (8) 同上 (9) 中国の年中行事 正月 日本の初詣と恵方参り (10) 同上 爆竹と門飾り 節分の由来 (11) 同上 (12) 楚の屈原と端午の節句 粽(ちまき)と竜船競漕 (13) 風水とその歴史 (14) 同上 (15) 同上 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・講義中に感じた疑問点について調べる。 ・十干や十二支・八卦等の用語については記憶すること。
使用教材・参考文献	【教】 鹿児島県神社庁編『平成22年 かごしま暦』 鹿児島県神社庁 2010年 その他適宜プリントを配布する。	
成績評価方法と基準	授業中の小テスト：50点 レポート：50点 欠席1回につき3点減点。ただし、出席が全授業回数の3分の2に達しないと失格になります。	
備考	教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	